

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	海事工学	
科目基礎情報							
科目番号		0076		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		情報工学科		対象学年		5	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		必要に応じて資料を配布する					
担当教員		高木 洋					
到達目標							
島嶼部に設置された商船高等専門学校という条件を活用し、海や船について理解を深める。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
船の発展と、船舶で使われる単位を知る		トン数やノットの成立ちを知る		トン数やノットを理解できる		トン数やノットが理解できない	
船の航路の設定の仕方を知る		測位の原理を理解できる		自船位置をもめる方法を理解できる		自船位置を求める方法が理解できない	
船ではどのような計器が、どのような目的で使われているのかを知る		航海計器の動作を理解できる		航海計器の役割が理解できる		航海計器の役割が理解できない	
船で使われている機関の発展と構造を知る		ディーゼルやタービンの機構を理解できる		船でディーゼル機関が使われる理由を理解できる		船でディーゼル機関が使われる理由が理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教養 C1 教養 C2 教養 D2							
教育方法等							
概要		船で使われている用語や装置、機関、推進器について知る。					
授業の進め方・方法		講義が中心だが、必要に応じて校内の機関や航海計器等の見学を行う。					
注意点		身近にある船の話なので、弓削丸やフェリーに乗る際にも注意しておいてほしい。ロープワーク等では実習も行なう。					
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	船の歴史		船の構造、推進方法の発展を知る		
		3週	船の大きさ、速さ		船の大きさや速さの示し方を知る		
		4週	船のゆれと復元性		船のゆれと復元性について知る		
		5週	海図と航法、位置の測定				
		6週	地文航法				
		7週	天文航法		自船位置を知る方法を知る		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	電波測位				
		10週	船の交通ルール		電波を使って自船位置を求める方法や海上衝突予防法で定められている、二船間の関係と、それぞれの行動などを知る		
		11週	航海計器				
		12週	船の機関				
		13週	蒸気タービン機関				
		14週	ディーゼル機関		船の動力の発展について知る		
		15週	結索法		ロープの結び方を知る		
		16週					
評価割合							
		定期試験		口頭発表		合計	
総合評価割合		70		30		100	
知識の基本的な理解		50		10		60	
試行・推論・創造への適応力		20		0		20	
汎用的技能		0		10		10	
リーダーシップ・コミュニケーション力		0		10		10	